

部落解放研究関係文献目録

(一九八二年一月～三月)

【現状】

稻積謙次郎「『攻めて守る』人権の取り組み―日本新聞協会賞を受賞して」(『部落解放』一七五号、1月)
松井久吉「部落の環境と総合計画」(『部落解放』一七六号、1月)

藤沢喜郎・平沢徹「部落の生活の現状と社会保障―国際障害者年―」(同右)

向井 正・福島桂之助「部落の労働の現状と仕事保障」(同右)

川口正志・浅野隆広「部落産業の現状と課題」(同右)

羽音 豊「農漁村部落の現状と課題」(同右)

西田英二「差別のなかで暮した十五年―長野県望月町の結婚差別事件」(『部落解放』一七七号、2月)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

熊本日日新聞「統人権を問う―部落差別を追って」(熊本日日新聞から)

想社、3月)

大橋 薫「同和地区の現状と問題」

(『地方中核都市の社会病理』所収、川島書店、3月)

大津市同和対策局同和対策課「同和問題に関する大津市民意識調査報告書(増補版)」(同上、3月)

東京都産業労働会館「かわとはきもの」№38(同上、3月)

【行政】

磯村英一「同和行政の現状と立法への期待」

(『部落解放』一七五号、1月)

住田利雄・山口富造・福村清英「隣保館(解放会館)活動の現状と課題」(『部落解放』一七六号、1月)

磯村英一「同和対策の新しい展開―同和問題の認識も含めて―」(『部落』四一四号、1月)

杉之原寿一「『同和法』問題の国会審議に望む」(同右)

(資料)「今後における同和関係施策について―同和対策協議会の意見具申―」(同右)

全国部落解放運動連合会「(資料)国民的融合に役立つ同和行政を―同和対策協議会の意見具申をめぐって―」(同右)

杉尾敏明「同和行政の展望―最終ゴールへの道(上)―」(吉備町『ダウン計画』の提起するもの)『月刊部落問題』六二号、1月)

(資料紹介)「同和対策協議会最終意見具申(全文)」(同右)

磯村英一「同和問題と同和対策」(解放出版社、1月)

杉之原寿一「同和地区の実態と変化―一九七二・一九八一年の神戸市調査―」(『月刊部落問題』六四号、3月)

田中 充「(資料紹介)『静岡サンダル産地の現状と将来』―静岡サンダル工業協同組合一九七九年(昭和五四年三月)―」(『ひょうご部落解放』五号、3月)

本多新平「(書評)鶴嶋雪嶺編『部落産業の現状と課題』」(同右)

鶴嶋雪嶺「海外ノート」(同右)

山名伸作「長崎市と島原半島の被差別部落を訪ねて」

(『ながさき部落解放研究』四号、三月)

荒牧邦三「部落差別への接近」

(『部落解放研究』二二〇四号、3月)

(批評と紹介)「『現代日本の偏見と差別』―差別という精神の水山に亀裂を生じさせる」

(『朝日ジャーナル』二二〇四号、3月)

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

大藪寿一「忘れられた人権―差別問題を中心として」

(『現代社会病理論―社会学・社会心理学ノート』所収、幻

〔意見具申〕「『解放教育』一四八号、3月」
領家 穂「(書評)磯村英一著『同和問題と同和对策』」
〔『ひょうご』部落解放』五号、3月〕

【運動】

《東大・有賀教授差別発言とその背景》

〔『部落解放』一七五号、1月〕

村越末男「有賀弘・東大教授の差別発言に抗議する―国際学会で部落差別を否定」

〔資料〕「有賀弘教授の発言全内容―シンポジウム『国際関係における日本の経済社会発展』でのマーチン・金子さんの報告と討論」

(インタビュー)「全国水平社創立60周年をむかえて―上杉佐一郎さんに聞く」(同右)

小森龍邦「主体の確立から共闘の強化へ―全国自治研部落解放分科会から」(同右)

《語りごう》戦争と部落―「満州」(中国)で《(同右)

森 昭鶴「『満蒙开拓青少年義勇軍』―その夢と真実」

阿部タケヨ「中国へ行って、少しでも多く母親に仕送りした」
520」

上杉佐一郎「『行革』許さず強化・改正へ」

〔『部落解放』一七六号、1月〕

《特別報告・特別措置法》強化改正にむけての各界からの訴え《(同右)

丸山康男「政治反動、福祉切捨てに抗議して」

持田広康「同和对策の推進について」

門田秀夫「教育上の部落差別の実態を明らかに」

磯村英一「政府の認識はあまい」

丸谷久夫「これまでに倍する連絡会の努力を」

三宮義信「全教団が同和问题解決のために」

和島若吉「大阪における『特別措置法』強化改正のとりくみ」

谷木寛作・友永健三「部落解放と共同闘争の現状と課題」
(同右)

豊田一義・藤井治夫「部落の戦争体験と平和闘争」(同右)

西岡 智「狭山再審闘争と司法反動との闘い」(同右)

大西正義「差別事件の実態と糾弾闘争―地名総鑑」糾弾とあいつく差別事件―(同右)

上杉佐一郎・安藤良明「『特別措置法』強化改正と『基本法』制定」(同右)

《特集》「部落問題と新聞報道」(『部落』四一四号、1月)
塚本三夫「部落問題と新聞報道―言論の自由の観点から―」

瀬川貞太郎「八木晃介(差別メディア論)を叱る」

植山光朗「『小倉タイムス』解同土地ころがし追跡記」

中野初好「あいつく校長自殺問題の背景」

木戸幸市「(動向)行政・国民融合をめざす部落問題全国会議第七回総会開かる」(同右)

藤谷俊雄「一九八二年の展望」(同右)

植山光朗「北九州からのレポート③―土地ころがし事件・その利権構造を発く」(同右)

権構造を発く」(『月刊部落問題』六一号、1月)

野間 宏「狭山裁判」(第72回) 異議申立の棄却決定批判(8)「

〔『世界』四三三号、1月〕

自治研中央推進委員会事務局「第19回自治研全国集会・分科会報告 第11・部落解放分科会」(『月刊自治研』二六八号、1月)

吉田照美「ひとつの出合い」(『第28回NHK青年の主張発表文集全国コンクール全国大会』所収、日本放送協会、1月)

亀井トム「これからの『狭山』どう反省しどう出直すか」
(『同時代批評』四号、1月)

「同和对策事業特別措置法」強化改正要求国民運動中央実行委員会
「『特別措置法』強化改正」基本法」制定をめざして」
(解放出版社、1月)

部落解放研究所「『同和对策事業特別措置法』法案検討学者文化人の会報告」(同上、1月)

上田卓三議員生活五周年記念出版編集委員会「初心忘れず―衆議院議員上田卓三議員生活五周年記念」(国会報告第三集)《
(河内新報社、1月)

「同和对策事業特別措置法」強化改正要求国民運動中央実行委員会
「『特別措置法』強化改正をめぐる国会論議」(同上、1月)
狭山中央闘争委員会「新たな歩みをきざむ」(狭山差別裁判第九八号) (同上、1月)

瀬川貞太郎「解同王国からのレポート(その一)」

〔『部落』四一五号、2月〕

丸井京二「(動向)行政・自治労第十九回地方自治研究全国集会

―『部落解放分科会』―(同右)

前田 武「部落解放運動の現場から―滝川工事機不当解雇問題への取りくみ」(『月刊部落問題』六三三号、2月)

植山光朗「北九州からのレポート③―土地ころがし事件・その利権構造を発く」(同右)

小森龍邦「北九州市土地疑惑問題について自己批判―今こそ、部落解放の主体を培わねばならない」

(『解放運動と同和教育』二八〇・二八一号、2月)

野間 宏「狭山裁判」(第73回) 異議申立の棄却決定批判(9)「
(『世界』四三五号、2月)

野間 宏・真継伸彦「狭山裁判の真実を衝く―新証拠」小名木調書」で裁判はどうなるか」(『使者』一二号、2月)

部落解放研究所「第四回研究者会議・第十五回総会」
(同上、2月)

部落解放同盟兵庫連合会「部落解放同盟兵庫連合会第二三回大会―一九八二年度一般運動方針(案)」(同上、2月)

部落解放同盟東京都連合会「部落解放第十二回東京都研究会討議報告書」(同上、2月)

部落解放同盟中央本部「人間として―矢田教育差別事件の真実と虚構」(同上、2月)

部落解放同盟大阪府連合会婦人部「第十二回大阪婦人集会討議資料」(同上、2月)

「同和对策事業特別措置法」強化改正要求国民運動大阪実行委員会「よき日のために」(同上、2月)

狭山中央闘争委員会『新しいたたかのため』(狭山差別裁判第九九号)(同上、2月)

村越末男『全国水平社六〇周年記念と部落解放基本法』(『部落解放』一七九号、3月)

吉田照美『ひとつの出会い』(同右)

牧野繁美・鶴嶋雪嶺『兵庫における八二年度の闘い』(第二十三回 県連大会を終えて)(『ひょうご部落解放』五号、3月)

大西正義『二つの想いを持って』(同右)

藤沢秀雄『長崎大学差別教科書糾弾とその意義』(その一)(『ながさき部落解放研究』四号、3月)

《反原爆・反差別》被差別部落からの告発(同右)

磯本恒之『博多屋固保さんの原爆体験』

阿南重幸『部落と戦争―長門次義さんの聞きとりから』

本田政雄(提言)『特別措置法後―新立法をめぐる展望と部落解放研究会に期待するもの』

(『部落解放研究』二二号、3月)

野間 宏『狭山裁判』(第74回) 異議申立の棄却決定批判(10)(『世界』四三六号、3月)

瀬川負太郎『解同・谷市政の土地転がしを撃つ』(小倉タイムス) 奮戦記(『住民と自治』二二七号、3月)

(資料)『狭山闘争史』(『狭山差別裁判』一〇〇号、3月)

東上高志『今月の部落問題・同和教育―同和二団体代表座談会』(『月刊』)『月刊』の子も伸びる(五十六号、3月)

奈良県部落解放研究所『人の世に熟あれ人間に光あれ―部落解放

同盟奈良県連合会定期大会議案集(第一〜二〇回)』(部落解放同盟奈良県連合会、3月)

部落解放同盟奈良県連合会『荆冠を祝福されるために―差別事件と糾弾闘争』(奈良県部落解放研究所、3月)

部落解放同盟関東ブロック協議会『部落解放第十三回東日本研究会基調報告分科会報告集』(同上、3月)

部落解放同盟中央本部『全国水平社創立六十周年』(同上、3月)

部落解放同盟東京都連合会『部落解放第十三回東京都研究会討議資料』(同上、3月)

部落解放同盟中央婦人対策部『部落解放第二十七回全国婦人集討議資料』(部落解放同盟中央本部、3月)

部落解放同盟大阪府連合会『荒本支部の再建―真相と記録』(同上、3月)

大阪郵便局連合部落解放研究会『連合解放研第八回研究会―解放理論を働く者の手に』(同上、3月)

友永健三『地名総鑑と行政責任―同和对策事業特別措置法の強化改正にむけて』(自治労神戸市職員労働組合、3月)

東大阪市革新市政を進める市民の会『革新市政の継続で福祉と人權の行政を』(同上、3月)

部落解放中央共闘会議『部落解放中央共闘情報』No. 38(同上、3月)

狭山中央闘争委員会『勝利の日まで』(狭山差別裁判第一〇〇号)(同上、3月)

谷畑 孝『最賃闘争は全労働者の課題だ』(『82年春闘読本』所

収、『82年春闘読本』編集委員会、1982年)

【理 論】

渡辺俊雄・大賀正行『部落史研究と部落解放理論の諸問題』

(『部落解放』一七六号、1月)

犬丸義一(本棚)藤谷俊雄著『戦後の部落問題研究』(『部落』四一四号、1月)

江嶋修作『差別問題とむきあう解放社会学へ―社会学からみた部落問題』(『解放新聞』一〇五三号・一〇五六号、1月・2月)

山下恒男『差別の心的構造』(第一三回)―差別・偏見の心理学的研究・補足とまとめ(『福祉労働』一四号、3月)

山崎光男『部落解放運動における個人の役割』(交流出版会、3月)

【解放教育】

森本美代子・山中米子『就学前教育の現状と課題』

(『部落解放』一四六号、1月)

石岡隆允・吉田重明『小・中学校と子ども会の課題』(同右)

山中多美男・村越末男『高校・大学教育と奨学生活動の課題』(同右)

更池解放子ども会『第11回全国解放教育研究者集会・佐迫さんとの出会いをもとに』(『ロシマ』には年はないんよ』を劇にして)(『解放教育』一四六号、1月)

柳 久雄・松本健男・小林 茂・永野 仁『シンポジウム』(今教

科書を考える』より(同右)

芝 竹夫『一五歳の孤児』(同右)

原田嘉男『現実の苛酷さをなめきつたもの―『ぶん殴り教育のすすめ』批判―』(同右)

全国解放教育研究会事務局『読本』にんげん』のさらなる充実にむけて(同右)

中野 功(動向)『研究・第33回全国同和教育研究大会に参加して』(『部落』四一四号、1月)

東上高志『講座・これからの同和教育20―同和教育の課題』(その

4) 同和教育行政の見直し(同右)

出口俊一『現代融和教育批判』(部落解放研究所編)は批判の書たりえているか―小森龍邦論文を中心に(2)(『月刊部落問題』六二号、1月)

教育実践史研究会(連載・人物でつづる教育実践史)差別からの解放―人見亨と『養正少年団』(『月刊』)『月刊』の子も伸

びる(五十六号、1月)

泉佐野市立ひかり保育所『同和保育の現場から①―父親と保育所』(『はらっぱ』一八号、1月)

西播地区同和教育研究協議会・兵庫県同和教育研究協議会『同和学習』研究集録・昭和56年度(実践編)(資料編)(同上、1月)

熊本商科大学・熊本短期大学『差別と人権問題の正しい認識のために』(同上、1月)

《特集》『切り捨てられてたまるか』

『解放教育』一四七号、2月)

畑中 武「進路指導で再会した子どもたち」

日笠慶二「死んでたまるかいいう気でここまで来たんやー離れ
職をくりかえすなかで」

荒川雅清「それでも僕は学校へ行った」

石岡 豊「まだ語りきれぬ弱さをー父や母とともに」

横田三郎・中川福督・中村弘三「へ座談会」『ぶん殴り教育』論
争をめぐって(同右)

山中多美男「(資料)問題提起・高校差別事件に思う」(同右)
大麻 南「(動向)教育・京都における『教材の取り扱いに關す
る規則』制定の背景・経過とその意味」(『部落』四一五号、
2月)

東上高志「講座・これからの同和教育21ー同和教育の課題(その
5)希望をもって同和教育にとりくもう」(同右)

『特集』「子どもを伸ばす生活綴方」

(『月刊』の子も伸びる』五七号、2月)

大田隆三「生活綴方と同和教育ー私の雑記帳から」ほか

東上高志「今月の部落問題・同和教育ー映画『パトントッチ』の
上映を」(同右)

小嶋昭道「部落問題学習のあり方をめぐって」

(『月刊滋賀の部落』七二号、2月)

久保義明「教育を追って」(タイムス、2月)

宮崎県同和教育研究協議会「第六回宮崎県同和教育研究大会」
(同上、2月)

大阪府立高等学校同和教育研究会「第二回高校同和教育研究集会
討議資料」(同上、2月)

吉田正人「教材「狭山事件」ー事件の全貌と問題点」

(奈良県部落解放研究所、2月)

大阪教育大学同和教育研究センター「同和教育研究論集」第4号

(同上、2月)

村越末男「(本の紹介)林 力著「差別認識への序章」」

(『部落解放』一七九号、3月)

『特集』「戦後、福岡における『同和』教育がめざしてきたもの
(その一)」(『部落解放史ふくおか』二五号、3月)

岡山直和「(提言)やさしさをうけつづけるものームラのもつ教
育力」

林 力・浦川光永・岡山速俊・伊豆丸鼎・川向秀武「へ座談会」
戦後、福岡における『同和』教育がめざしてきたものとそ
の課題(その一)」

三吉鉄児「福岡市における解放高校奨学生進路の実態と進
路保障の課題(その一)」

豊田量彦「狭山同盟休校の意義についてー『同和』教育の課
題と関連して」

『特集』「みずからの歩みを踏みしめる」(『解放教育』一四八
号、3月)

川向秀武「解放教育運動の直面している問題ー一九八一年に
おける特徴的なできごと」

早川勝広「生活と子どもに学ぶーことば教育の創造をめざし

『同和教育の部・研究主題ー差別を見ぬく力を育てる常時指導の
あり方』(『那賀川町教育研究所研究紀要』八号、3月)

小沢有作「シンポジウム『同和教育の今日的課題』」

(『人文学報』一五五号、東京都立大学人文学部、3月)

井上正一「『現代社会』は人権問題をどう扱っているか」

(『社会科学研究会誌』三三号、大阪府私立高等学校中学校社会科
研究会、3月)

大阪同和教育史料集編纂委員会「大阪同和教育史料集」第一巻

(部落解放研究所、3月)

東上高志「人物でつづる戦後同和教育の歴史」(上)(下)

(部落問題研究所出版部、3月)

中川福督「親の思い 子の思い」へ解放教育選書16

(明治図書、3月)

兵庫県立教育研修所「同和教育の研究」委員会「同和地区の生
活文化」教材化ー実践事例集」(兵庫県立教育研修所、3月)

同和教育研究会京都府連合会「京都府の同和教育(第二三集)」
(同上、3月)

泉佐野市同和教育研究会「同和教育指導資料集(中学校用)」

(泉佐野市教育委員会、3月)

兵庫県同和教育研究協議会「引兵庫の同和教育ー第二八回兵庫県
同和教育研究大会中央大会集録」(同上、3月)

富永徳孝遺稿集刊行委員会「慈照ー富永徳孝遺稿集」

(同上、3月)

大阪府私学同和教育研究会第五部会「研究発表会資料一九八一年

『解放教育』一四七号、2月)

畑中 武「進路指導で再会した子どもたち」

日笠慶二「死んでたまるかいいう気でここまで来たんやー離れ
職をくりかえすなかで」

荒川雅清「それでも僕は学校へ行った」

石岡 豊「まだ語りきれぬ弱さをー父や母とともに」

横田三郎・中川福督・中村弘三「へ座談会」『ぶん殴り教育』論
争をめぐって(同右)

山中多美男「(資料)問題提起・高校差別事件に思う」(同右)
大麻 南「(動向)教育・京都における『教材の取り扱いに關す
る規則』制定の背景・経過とその意味」(『部落』四一五号、
2月)

東上高志「講座・これからの同和教育21ー同和教育の課題(その
5)希望をもって同和教育にとりくもう」(同右)

『特集』「子どもを伸ばす生活綴方」

(『月刊』の子も伸びる』五七号、2月)

大田隆三「生活綴方と同和教育ー私の雑記帳から」ほか

東上高志「今月の部落問題・同和教育ー映画『パトントッチ』の
上映を」(同右)

小嶋昭道「部落問題学習のあり方をめぐって」

(『月刊滋賀の部落』七二号、2月)

久保義明「教育を追って」(タイムス、2月)

宮崎県同和教育研究協議会「第六回宮崎県同和教育研究大会」
(同上、2月)

て

高槻市立富田小算数部「『なやみ』と『おどろき』の共有を
求めて」

山口直太・玉置哲淳「『同和』保育の課題ー『特措法』と平
和教育を中心に」

中野陸夫「中卒者の進路保障をめぐって」

稲富 進「『見える差別ー同化』を見つめて」

森山沾一「部落解放子ども会活動をめぐる状況と問題」

内山一雄「識学運動ー今 問われているもの」

市川正昭「教育労働運動の側からー『ともに歩む』思想を」

田中欣和「部落解放運動との結合をめざす立場から」

広島解放教育研究会「当たり前のことが当たり前のように」

古林健司「ギリギリの一線をもちこたえよ」

青雲高校分会「徹底した管理体制のなかで」(同右)

(資料)「一九八〇年四月からの経過」(同右)

山下楠一「(動向)教育・教育の自由庄殺の人権分科会ー全国教
研広島集會」(『部落』四一六号、3月)

青木孝寿「へ同和教育の現場」人権教育にとりくむ後ノ井旭高校

(長野市)ー学力・非行・格差・人権を統一した教育を」

(同右)

吉田善明「憲法26条と教育を受ける権利」

(『地方自治と住民の権利』所収、三省堂、3月)

(資料)「研究部会報告へ同和教育部会」

(『所報』二八号、京都教育大学教育研究所、3月)

- 度』(同上、3月)
 兵庫県立教育研究所『同和教育長期研修報告』第十集
 (同上、3月)
 豊中市立登池小学校『解放教育の道すじを求めて』(同上、3月)
 兵庫解放教育研究会『むらぎも』(八十四・十五合併号)
 (同上、3月)

【人権】

- 宮松宏至「差別の苦しみは愛を生む」閉じこめられたカナダ
 先住民」(『部落解放』一七五号、1月)
 日野範之「アジア、アフリカの作家ら、あいついで解放同盟を訪
 問」(同右)
 芦田吉之「第11回全国解放教育研究会・宝塚の就学闘争―こん
 な思いで生きてきました」(『解放教育』一四六号、1月)
 ≪特集≫「障害者と共に生きるとは」
 (『はらう』一八号、1月)
 玉置哲淳「保育の視点―反戦平和を希求する力を」(同右)
 小森龍邦「インドにおけるハリジャンとのふれあい(1)(2)」
 (『解放運動と同和教育』二七八号・二七九号、1月)
 藤本剛「兩大戦間期フランスにおける外国人労働力問題(下)
 一九二〇年代を中心として」
 (『経済学』四三巻三号、東北大学、1月)
 村越末男「基本的人権と教育10―差別事件に見る日本人の人権感
 覚」(『現代教育学』三〇二号、1月)

- マーチン・カネコ「ロマの生存をめぐる闘い①―ナチス以来つづく
 西ドイツの迫害」(『解放新聞』一〇五九号、2月)
 柴山恵美子「講座・女性と労働―昨日・今日・明日(第二回)―
 新しい合理化と女子労働」
 (『季刊女子教育』十号、2月)
 (資料)「原爆関係の文献資料案内(一九八一年発行のもの)」
 (『ヒロシマ・ナガサキの証言』創刊号、広島・長崎の証言の
 会、2月)
 村越末男「基本的人権と教育11―教育の場における差別事件」
 (『現代教育学』三〇三号、2月)
 原秀男「刑法改正をめぐる日弁連と法務省との意見交換会報告」
 (『法律時報』六五五号、2月)
 鎌田慧「財田川事件再審裁判報告―死刑囚は生還できるか」
 (『朝日ジャーナル』一一九九号、2月)
 鎌田慧「財田川事件再審裁判報告―あぶり出される手記をめぐる
 怪」(『朝日ジャーナル』一二〇二号、2月)
 兼房次男「なぜ司法制度改革が必要か(中)―改革提言の構成と
 背景」(『前衛』四七五号、2月)
 丸木位里・俊・「原爆の図」展実行委員会『不戦のちがい―大阪
 婦人民主クラブ「婦人民主新聞縮刷版」第一巻(一九四六年)―
 九五三年) (同上、2月)
 萩野芳夫「国籍・出入国と憲法―アメリカと日本の比較」
 (『勸草書房』2月)

飯沼一郎「在日朝鮮人とともに生きる道・その市民権獲得の軌跡
 をたどる」(『エコノミスト』二四四三号、1月)

(資料)「出入国管理及び難民認定法施行規則」

(『朝鮮研究』二二七号、1月)

≪特集≫「名譽・プライバシー侵害をめぐる諸問題」

(『法律のひろば』三五巻一、1月)

水流正彦「名譽・プライバシーに関する人権侵犯事件の概況」

柴山恵美子「健康・母性破壊の実態と男女平等の前提課題」

(『法学セミナー』三三三三三三、1月)

兼房次男「なぜ司法制度改革が必要か(上)―改革提言案の構成
 と背景」(『前衛』四七四号、1月)

露木まさひろ「興信所・知られざる業界」(朝日新聞社、1月)

「障害児」の生活と教育を保障しよう市民の会大阪連合会『世哭
 き石の唄―あんじょう聞いたって「障害者」問題』

(現代出版、1月)

本田英郎「存在しない子どもたち―沖縄の無国籍児問題」

(汐文社、1月)

飯田邦光「沖縄戦記―中・北部戦線生き残り兵士の記録」

(三一書房、1月)

≪特集≫「切り捨てられてたまるか」

(『解放教育』一四七号、2月)

浜根一雄「障害児の親から」

阿部富久世「施設の中の子どもたち」

川本輝夫「水俣病はまだ終っていない」(同右)

エマヌエル・リンゲルブルム「ワルシャワ・ゲットー・捕囚一九
 四〇―四二のノート」(みすず書房、2月)

内野久美子「日本女性研究基礎文献目録」(学陽書房、2月)

ユージン・スミス、アイリーン・スミス『写真集・水俣』

(三一書房、2月)

女性史総合研究会『日本女性史』第二巻中世・第三巻近世

(東京大学出版会、2月・3月)

山際素男『不可触民の道―インド民衆のなかへ』

(三一書房、2月)

小野寺誠『ジプシー生活誌』(NHKブックス三八四)

(日本放送出版協会、2月)

マーチン・バルマー編『統計調査とプライバシー』

(梓出版社、2月)

土門拳『生きているヒロシマ』(築地書館、2月)

行政管理研究センター『改訂世界のプライバシー―情報化の進
 展とプライバシーをめぐる諸外国の動向』(ぎょうせい、2月)

高田寛明「在日朝鮮人差別を支えるもの―部落解放の視点からの
 考察」(『ひょうご部落解放』五号、3月)

P・タンガラジ、辻由美訳「パットンとはどんな人たちか?

(4)―南インド・タミル州の被差別カースト(アンタッチャ
 ブル)―パットンの歴史と現状」

(『部落解放史ふくおか』二五号、3月)

藤本寿子「被差別共同闘争からの報告(第二回)―モモエさんと
 のこと」(『部落解放研究くまもと』二二号、3月)

マーチン・カネロ「ロマの生存を求める闘い」(終)一定住拒否
されつつ流浪」(『解放新聞』一〇六一号・一〇六三号、
3月)

《特集》「これから始まる国際障害者年」

(『福祉労働』一四号、3月)

姫田忠義「大地の人・バスとアイヌを結ぶ」映画「アマ・ルー
ル」撮影の旅」(『朝日ジャーナル』一二〇七号、3月)
大里 担「国籍と人権」

(『研究紀要』十五号、福岡県社会保育短期大学、3月)

《特集》「各国のブライバシー保護と日本」

(『ジュリスト』七六〇号、3月)

加茂直樹「平等の思想」

(『所報』二八号、京都教育大学教育研究所、3月)

川島慶雄「国際難民法の発展と課題」(『法と政治の現代的課題
—大阪大学法学部創立30周年記念論文集』所収、3月)

田中 治「(条例レポート)八尾市電子計算組織の利用に係る個
人的秘密の保護に関する条例」

(『時の法令』一一三七号、3月)

村越末男「基本的人権と教育・最終回—国際人権規約と現代日
本」(『現代教育科学』三〇四号、3月)

村越末男「ネオナチズムと部落解放—欧米に蠢動するファシズム
の実態」(『社会評論』三六号、3月)

五十嵐一葉「人を「鳥籠」に入れ続ける功利主義への疑問—監獄
法改正にひそむ汚点」

(『朝日ジャーナル』一二〇五号、3月)
内田剛弘「情報公開とブライバシー保護」

(『法と政策』一〇号、3月)

《特集》「婦人問題の新たな展望」(『経済』二二五号、3月)

小田中聡樹「誤判救済と再審」(日本評論社、3月)

芹田健太郎編「国際人権条約・資料集(第二版)」

(有信堂高文社、3月)

大塚秀之「アメリカ合衆国史と人種差別」(大月書店、3月)

大藪寿一「現代社会病理論—社会学・社会心理学ノート」

(幻想社、3月)

大阪府企画部府民文化室「おおさかの女性—その変化と現状」

(同上、3月)

大阪府「くらしに生かそう女性差別撤廃条約」(同上、3月)

人権啓発推進大阪協議会「差別のない明るい社会をめざして—
身元調査お断り運動」の推進」(同上、3月)

日本弁護士連合会再審法改正実行委員会「日弁連再審通信」№26
(同上、3月)

【社会啓発】

八木晃介「差別意識の状況と社会啓発の課題」

(『部落解放』一七六号、1月)

部落解放研究所「社会啓発情報」№5(同上、1月)

枚方市教育委員会「連続講座「生きることについて」」(同和教
育資料9)(同上、2月)

小野大祥之「(読書案内)光る民衆芸能の聞き歩き—小沢昭一・
土方鉄著『芸能入門・考—芸に生きる』」

(『季刊労働運動』二九号、1月)

《創る—みんなで作る文化のページ》

(『部落解放』一七七号、2月)

《第8回部落解放文学賞入選作品》

(『部落解放』一七八号、2月)

〈入選作〉

石岡英子「(識学部門入選作)私の母」

池田栄子「(記録文学部門入選作)私は高校二年生」

中尾 昇「(小説部門入選作)集会参加」

矢野とおる「(小説部門入選作)土手の家」

松本太吉「(詩部門入選作)人間の土地—夜明けの予感に震
える戦いの埒場へ」と

松江ちづみ「(詩部門入選作)手紙—連作『おこぼろさまの
話』より」

〈選評〉

〈詩部門佳作作品〉

〈応募作品一覧表〉

村崎修二「猿舞座設立にむけて」

(『月刊部落問題』六三三号、2月)

河内 啓「射る魔の丘にて—ある婦人記者の古い手帳より(叙事
詩集『狭山事件』より)」

(『エポス』叙事詩の復活)『創刊号』、2月)

《創る—みんなで作る文化のページ》

(『部落解放』一七五号、1月)

村田拓・木村美代子ほか「部落解放をたたかう文化の課題」

(『部落解放』一七六号、1月)

《特集》「人間解放と『美』」(『解放教育』一四六号、1月)

横井 清「日本の芸能考—あれこれと想うこと」

白井佳夫「西部劇とヤクザ映画の真の解放とは?」

富山妙子「ふまれた者とふみつける者」

鷗木三郎「笑いの残酷性を古典芸能にさぐる」

久松秀弘「判決―寺尾判決レポート」(叙事詩集『狭山事件』より)(同右)

松本ちづみ「あんちゃん」(第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作・連載第1回)、「『部落解放』一七九号、3月」

《創る―みんなで作る文化のページ》(同右)

「差別と人権を考える市民の夕べ」実行委員会「解放演劇」その日のために」を上演して」

(『部落解放史ふくおか』二五号、3月)

磯本恒信「浦土雑煮」(『ながさき部落解放研究』四号、3月)

増田幸子「年の暮からお正月―長門隆明さん、トシエさんが子ども頃」(同右)

直原弘道「池田栄子さんのこと」

(『ひょうご部落解放』五号、3月)

大塚正文「山鹿市石の民俗」

(『部落解放研究くまもと』二号、3月)

森 祐三「歪網」(同右)

安岡章太郎・中上健次・水上 勉「△鼎談△人間の『根』に踏みこむ(上)―ものいわけ歴史を呼び戻す管為」

(『朝日ジャーナル』一一〇四号、3月)

安岡章太郎・中上健次・水上 勉「△鼎談△人間の『根』に踏みこむ(下)―なぜ差別意識に視線が集まる」

(『朝日ジャーナル』一一〇五号、3月)

【宗教】

《宗教と部落差別》(『部落解放』一七五号、1月)

村上重良「近代日本の宗教と部落差別」

松根 鷹「宗教教団における部落問題への取り組みの現状と課題―アンケート調査結果を中心に」

西田英二「(ある関心)日本キリスト教会部落解放センター」

今井数一さん(同右)

雀部倉平「宗教と部落問題」に寄せて」

(『部落』四一四号、1月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教(8)―神輿かつぎを以て」

(『南御堂』二三四号、1月)

宝生 忠「ドキメント戦後宗教界事件史Ⅳ―宗教界にみる特異な事件―WCRP町田宗夫発言事件」(『創』一一三三号、1月)

(『南御堂』二三四号、1月)

部落解放同盟大阪府連合会「天の声・地のうめき―差別戒名を斬る」(同右、1月)

(『南御堂』二三四号、1月)

松根 鷹「真言宗と部落差別」(『部落解放』一七七号、2月)

丹波正史「(動向)運動・宗教と部落問題シンポジウム」

(『部落』四一五号、2月)

谷口修太郎「信仰と解放・差別と宗教(9)―効果なき裁判の勝利」

(『南御堂』二三五号、2月)

(資料)「『差別戒名』など宗教界の当面する諸問題についての全解連の態度」(『赤旗評論特集版』二四八号、2月)

石尾芳久「差別戒名と部落の起源」(京都松柏社、2月)

愛宕 美「『差別戒名』をめぐって」

号、2月)

青木孝寿「『長野市史考』問題について」

(『月刊部落問題』六三三号、2月)

(資料)「京都部落史研究所報一〇五〇号総目録」

(『京都部落史研究所報』五十号、2月)

阪本清一郎・栗須喜一郎・本田佐之助ほか「全国水平社の創立と闘い―大阪府水平社をめぐって」(『荆冠の友』第九号より)

(『解放新聞』大阪版、四九二号、2月)

伝統と現代編集部「差別(伝統と現代保存版)」

(現代ジャーナリズム出版会、2月)

尾崎行也「信州被差別部落の史的研究」(柏書房、2月)

本田 豊「連載・被差別部落形成伝承譚(第三回)―先祖は八幡様の官司、医者……、親父はボロ着で、ボロ自転車で水平社運動……―埼玉県児玉郡児玉町で」

(『東京部落解放研究』一九号、3月)

田宮 武「(調査活動報告)生きて闘って―南但馬の部落差別と解放運動」(『ひょうご部落解放』五号、3月)

《山鹿総合調査》

(『部落解放研究くまもと』二二号、3月)

熊本県部落解放研究会「山鹿における部落解放の歴史と実態の総合調査―中間報告にあたって」

宮本武一「私の生きざまと部落問題」その二―わが村のすがた」(同右)

(語り)中島常喜・(聞き書き)内尾明生「古老のたたかい」

久松秀弘「判決―寺尾判決レポート」(叙事詩集『狭山事件』より)(同右)

松本ちづみ「あんちゃん」(第8回部落解放文学賞児童文学部門佳作・連載第1回)、「『部落解放』一七九号、3月」

《創る―みんなで作る文化のページ》(同右)

「差別と人権を考える市民の夕べ」実行委員会「解放演劇」その日のために」を上演して」

(『部落解放史ふくおか』二五号、3月)

磯本恒信「浦土雑煮」(『ながさき部落解放研究』四号、3月)

増田幸子「年の暮からお正月―長門隆明さん、トシエさんが子ども頃」(同右)

直原弘道「池田栄子さんのこと」

(『ひょうご部落解放』五号、3月)

大塚正文「山鹿市石の民俗」

(『部落解放研究くまもと』二号、3月)

森 祐三「歪網」(同右)

安岡章太郎・中上健次・水上 勉「△鼎談△人間の『根』に踏みこむ(上)―ものいわけ歴史を呼び戻す管為」

(『朝日ジャーナル』一一〇四号、3月)

安岡章太郎・中上健次・水上 勉「△鼎談△人間の『根』に踏みこむ(下)―なぜ差別意識に視線が集まる」

(『朝日ジャーナル』一一〇五号、3月)

【通史】

青木孝寿「『長野市史考』問題について」

(『月刊部落問題』六三三号、2月)

(資料)「京都部落史研究所報一〇五〇号総目録」

(『京都部落史研究所報』五十号、2月)

阪本清一郎・栗須喜一郎・本田佐之助ほか「全国水平社の創立と闘い―大阪府水平社をめぐって」(『荆冠の友』第九号より)

(『解放新聞』大阪版、四九二号、2月)

伝統と現代編集部「差別(伝統と現代保存版)」

(現代ジャーナリズム出版会、2月)

尾崎行也「信州被差別部落の史的研究」(柏書房、2月)

本田 豊「連載・被差別部落形成伝承譚(第三回)―先祖は八幡様の官司、医者……、親父はボロ着で、ボロ自転車で水平社運動……―埼玉県児玉郡児玉町で」

(『東京部落解放研究』一九号、3月)

田宮 武「(調査活動報告)生きて闘って―南但馬の部落差別と解放運動」(『ひょうご部落解放』五号、3月)

《山鹿総合調査》

(『部落解放研究くまもと』二二号、3月)

熊本県部落解放研究会「山鹿における部落解放の歴史と実態の総合調査―中間報告にあたって」

宮本武一「私の生きざまと部落問題」その二―わが村のすがた」(同右)

(語り)中島常喜・(聞き書き)内尾明生「古老のたたかい」

寺木伸明「『長野市史考』問題について」(ト)―関係二論文の問題点―(『解放教育』一四六号、1月)

野崎春喜「松田さんと家族のこと―この人に聞く(4)」

(『解放新聞』大阪版、四八七号、1月)

蛇草の歴史をつくる会事務局「蛇草の歴史をつくる会会報」第十七号(同上、1月)

《語りつづいて》戦争と部落―ふりかえって》

(『部落解放』一七七号、2月)

平田フミ子・深野タミ「しかし加害者でもあった―『銃後』の生活、空襲、肉身の戦死、『肉弾三勇士』」

生瀬克巳「(本の紹介)『近世の被差別部落』(歴史公論ブックス4)・原田伴彦・田中喜男編『東北・北越被差別部落史研究』」(同右)

松井久吉「わが半生の記・2 青春時代」(『解放教育』一四七

(同右)
 藤本泉・古沢千代勝「(資料) 藤本修氏の記録から」(同右)
 井上清・奈良本辰也「(対談) 解放運動とともに歩んで」
 (『解放新聞』一〇六〇号、3月)
 上田音市「水平運動60年大阪の思い出—この人に聞く(婦)」
 (『解放新聞』大阪版、四九五号、3月)
 部落解放地区歴史・文化を守る会「写真にみる協和町くらしの物語(上巻)—地区の移り変わり・しごと・くらし」(『おきな研究』第五号) (同上、3月)
 蛇草の歴史をつくる会事務局「蛇草の歴史をつくる会会報」第十一号、(同上、3月)

【前近代】

源城政好「(史料紹介) 洛中洛外図に見える河原者村について」
 (『京都部落史研究所報』四九号、1月)
 板東紀彦「徳島藩における幕藩制的賤民制の確立について(上)」
 (『史窓』十二号、1月)
 武知忠義「(書評・新刊紹介) 高橋啓著『徳島県部落史学習史料集』」(同右)
 師岡佑行・師岡笑子「北前船頭の幕不自叙伝—川渡甚太夫一代記」
 (柏書房、1月)
 高知県立図書館「憲章簿(第三巻)—土佐藩法制史料・穀泉・國産・御用銀編」(同上、1月)
 大森久雄「(動向) 研究・中世身分の具体像を明らかに—第一九

回部落問題研究者全国集会・歴史I(前近代) 分科会」
 (『部落』四一五号、2月)

東 義和「神鹿殺害の処置をめぐって—近世初期の一事例」
 (『京都部落史研究所報』五十号、2月)
 黒田日出男「史料としての絵巻物と中世身分制—宿の長吏たちの画像をめぐって」(『歴史評論』三八二号、2月)
 (『日本歴史』四〇五号、2月)
 松尾剛次「開発と中世非人—和泉国日根野村絵図をめぐって」
 (『山形大学史学論集』二号、2月)
 後藤正人「松本藩領梓川流域に生じた落牛事件と江戸町奉行—信濃國草場訴訟小史」
 (『和歌山大学教育学部紀要—人文科学』三一号、2月)
 東 義和「天保期畿内の百姓一揆」(『天保期の人民闘争と社会変革(下)』所収、校倉書房、2月)
 ダナ・モリス、トーマス・C・スミス、上村雅洋訳「ある被差別部落の人口動態—一七五〇—一八六九年」(『地方史研究の諸視角』所収、国書刊行会、2月)
 木下和子「千原騒動の義民」(同右)
 川元祥一「共同体隷役—部落の社会的関係に関する試論」
 (『東京部落解放研究』二九号、3月)
 安達五男「(書評) 小林茂編『近世被差別部落関係法令集—大領を中心として』」(『ひょうご部落解放』五号、3月)
 津田 深「前近代『部落史』の研究情況について—その『史料・

文献目録の編集雑考

(『部落解放史ふくおか』二五号、3月)
 姫野順一「天領長崎における被差別部落の形成と経済生活についての覚書」(『ながさき部落解放研究』四号、3月)
 増田史郎亮・増田幸子「大村藩の部落民について—城下・池田、宝庫野を中心として」(同右)
 若木太一「(資料翻刻) 島原松平文庫蔵『穢多取扱』」(同右)
 樋口輝幸「近世の山鹿市石」
 (『部落解放研究くまもと』二二号、3月)
 藤本清二郎「近世期紀州岸ノ上村の二・三の断面—橋本市永坂家文書の調査報告」
 (『紀州経済史・文化史研究所紀要』二二号、3月)
 荒井貢次郎「(書評) 牧英正『安永期以降における幕府の身分政策について』」(『法制史研究』三二二号、創文社、3月)
 植田信廣「(書評) 松尾剛次『中世非人に関する—考察—西大寺流による非人支配』」(同右)
 後藤正人「(書評) 荒井貢次郎『伊豆諸島・新島流入の行刑資料的考察—『流人覚』収録の賤民等の場合』」(同右)
 茨木市同和地区の歴史編纂協議会「茨木市同和地区の歴史」
 (茨木市、3月)

【近代】

白石正明「江口三省小論(一)」
 (『京都部落史研究所報』四九号、1月)

星野 隆「30年代型戦時部落政策との対決—狭山闘争の歴史的勝利—再審貫徹・石川氏実力奪還のために」
 (『共産主義者』五一号、1月)

高橋 啓「(書評・新刊紹介) 『徳島県部落史学習資料集・近代I』(徳島県教育委員会)」
 (『史窓』十二号、徳島地方史研究会、1月)
 「揖龍の部落史」刊行会「揖龍の部落史(第二巻) 近代篇I」(同上、1月)
 豊田一義「『満洲』に散った被差別部落民—来民開拓団(熊本)の記録」(『部落解放』一七七号、2月)
 大畑 哲「差別と抑圧からの解放—部落解放運動への先駆」
 (『神奈川の自由民権運動』所収、新ながわ社、2月)
 安達五男「学制の実施と『身分学校』のめばえ—『身分学校』形成史序章」
 (『武庫川女子大学紀要(文学部編)』二九集、2月)
 《特集》「全国水平社六〇年の伝統に学ぶ(上)」
 (『部落解放』一七九号、3月)
 米田 富・井元麟之「(対談) 水平運動よもや話(上)」
 美作 修「『水平社宣言』の思想」
 田宮裕三「西北万吉の水平社草創のたたかひ」
 内山一雄「少年少女水平社と解放の思想」
 (グラフィック)「写真抄録・水平社運動」
 《特集》「全国水平社創立六〇周年」(『部落』四一六号、3月)
 西門民江「詩・水平社創立六十周年に想う」

- 清原美寿子「西光の悲願『恒久平和の道』」
 木村テルエ「やさしかった兄、駒井喜作」
 小林史郎「水平社の自立精神―父三郎の思い出―」
 藤岡祥三「父、藤岡正右衛門について」
 内田弘三「叔父、北原素作を偲ぶ」
 新田 尚「獄中のおやじへ―思い出の手紙」
 朝倉米重「父、朝倉重吉の晩年の思い出」
 難波しな「部落問題と難波英夫」
 鈴木良・塩田庄兵衛・成沢栄寿・西尾治郎平・馬原鉄男「へ
 座談会」いま水平運動からなにを学ぶか」
 <写真でみる水平運動史>「水平社創立をむかえて」
 <特集>「水平社60年―関東・東京の運動の歴史と証言(上)」
 (『東京部落解放研究』二九号、3月)
 大串夏身「東京水平社の歴史」
 (聞き手) 東京部落解放研究会歴史部会「思い出の深川武と
 その友人たち―深川不二夫さんに聞く」
 東京部落解放研究会歴史部会「東京の近代部落史関係史料集
 (五)―一九三一年時事新報争議」
 本田 豊「婦人水平社運動の研究―関東婦人水平社を中心
 に」
 松浦利貞「水平社運動とアナキズム」
 大串夏身「昭和鉄工所、福博電車争議と全国水平社」
 (『部落解放史ふくおか』二五号、3月)
 柴田啓蔵「解放運動史余話(その十六)―水平社(全国・九州)
 和運動・融和運動の動向・水平社県連の再建・融和運動」
 (『新編埼玉県史資料編23―近代現代5・社会労働1』所収、
 埼玉県、3月)
 本田 豊「狭山の部落史(1)形成と解放へのたたかい」
 (『狭山差別裁判』一〇〇号、3月)
 米田 富・師岡佑行「高松結婚差別事件から50年―差別糾弾のた
 たかいに学ぶ」(同右)
 流動出版「同対審答申と部落解放運動(戦後史を創った重要文書
 ―安保の挫折と10・8への胎動)」
 (『流動』五三五号、3月)
 大阪同和教育史料集編纂委員会『大阪同和教育史料集』第一巻
 (部落解放研究所、3月)
 部落解放同盟中央本部『写真記録・全国水平社六十年史』
 (解放出版社、3月)
 三重県部落史研究会『解放運動とともに―上田音市のあゆみ』
 (三重県良書出版会、3月)
 奈良県部落解放研究所『人の世に熟あれ人間に光あれ―部落解放
 同盟奈良県連合会定期大会議案集(第一〜二〇回)』
 (部落解放同盟奈良県連合会、3月)
 部落問題研究所『写真でみる水平運動史』(同上、3月)
 富田支部二十周年記念誌編集委員会『炎をつついで(富田支部
 二十周年記念誌)』(同上、3月)
- 創立前後の群像(その二)」(同右)
 藤沢秀雄「長崎水平社時代の部落解放運動(その三)」
 (『ながさき部落解放研究』四号、3月)
 阿南重幸「〈解説〉明治二・三年県内における『諸身分別人』
 と『各府県管轄国郡』について」(同右)
 森山沾一「融和事業・融和教育の定着過程に関する一考察―山鹿
 市石の場合」(『部落解放研究くまもと』二号、3月)
 上田穰一「〈書評〉かえて―坂田勝と戦前労働運動」(同右)
 大串夏身「京都府下明治中期革製造業の状況について」
 (『京都部落史研究所報』五一号、3月)
 白石正明「江口三省小論(2)」(同右)
 <特集>「水平社創立60周年と今日の部落問題」
 (『月刊滋賀の部落』七三号、3月)
 江竜喜之「滋賀の水平運動とその教訓」
 中村一雄「全国水平社創立六十周年に思う」
 谷口勝巳「滋賀県における戦後の部落解放運動―同和教育運動史
 のために」(同右)
 北川鉄夫「山本宣治と部落問題」
 (『東京部落研究会報』一一五号、3月)
 井元麟之・田中松月・米田富・井上清「苦難の時代をふりかえる
 ―全国水平社創立60周年座談会」
 (『解放新聞』一〇六号、3月)
 沖浦和光「水平社はかくして生まれた」(同右)
 埼玉県編「身分解放令・水平社運動と融和事業・水平社運動と融